

栗田工業株式会社

平成17年3月期中間決算説明会

平成16年11月9日

平成16年度中間 決算報告

平成16年度上期：トピックス	1
平成16年度上期：業績ハイライト	2
平成16年度上期実績：受注高	3
平成16年度上期実績：売上高	4
平成16年度上期実績：営業利益	5
平成16年度上期：営業利益分析	6
平成16年度上期実績：設備投資額・減価償却費・研究開発費	7
平成16年度上期：業績総括	8

平成16年度計画

平成16年度計画の前提条件	9
平成16年度計画：総括	10
平成16年度計画：セグメント別業績	11
平成16年度計画：セグメント別営業利益率	12
平成16年度計画達成に向けた取組み(1)	13
平成16年度計画達成に向けた取組み(2)	14
平成16年度計画達成に向けた取組み(3)	15
平成16年度計画達成に向けた取組み(4)	16
平成16年度計画：営業利益分析	17
平成16年度計画：設備投資額・減価償却費：研究開発費	18

平成16年度中間決算報告



製造

中国における水処理装置生産拠点であるクリタ蘇州の設立・稼働開始

薬品製造拠点を3カ所から2カ所に統合することを決定

開発

研究開発拠点の統合を決定

水素ステーション稼働開始

販売

水処理販売特約店2社の子会社化

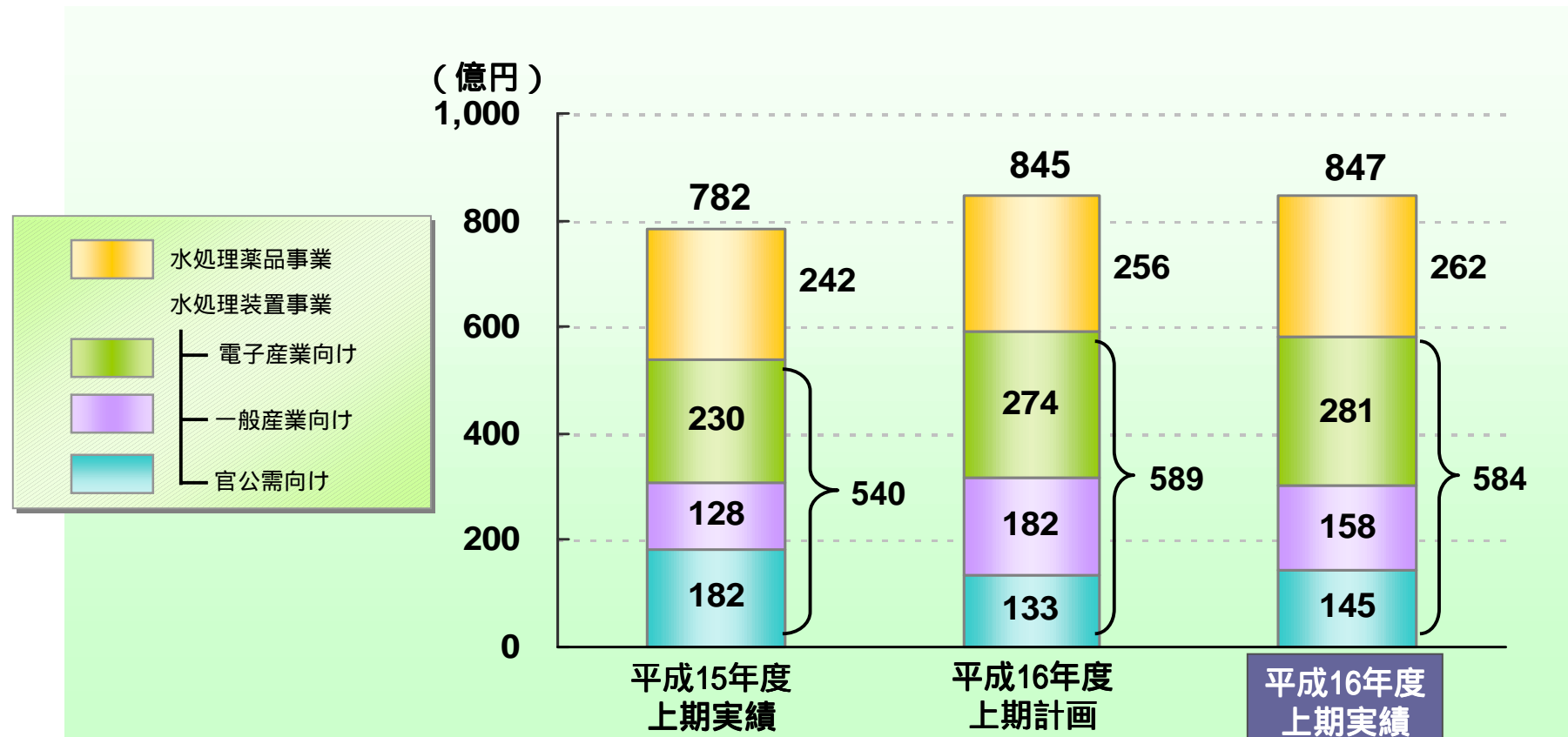
台湾駐在所を営業所に昇格。クリタ大連上海事務所の支店への昇格を決定

(億円)

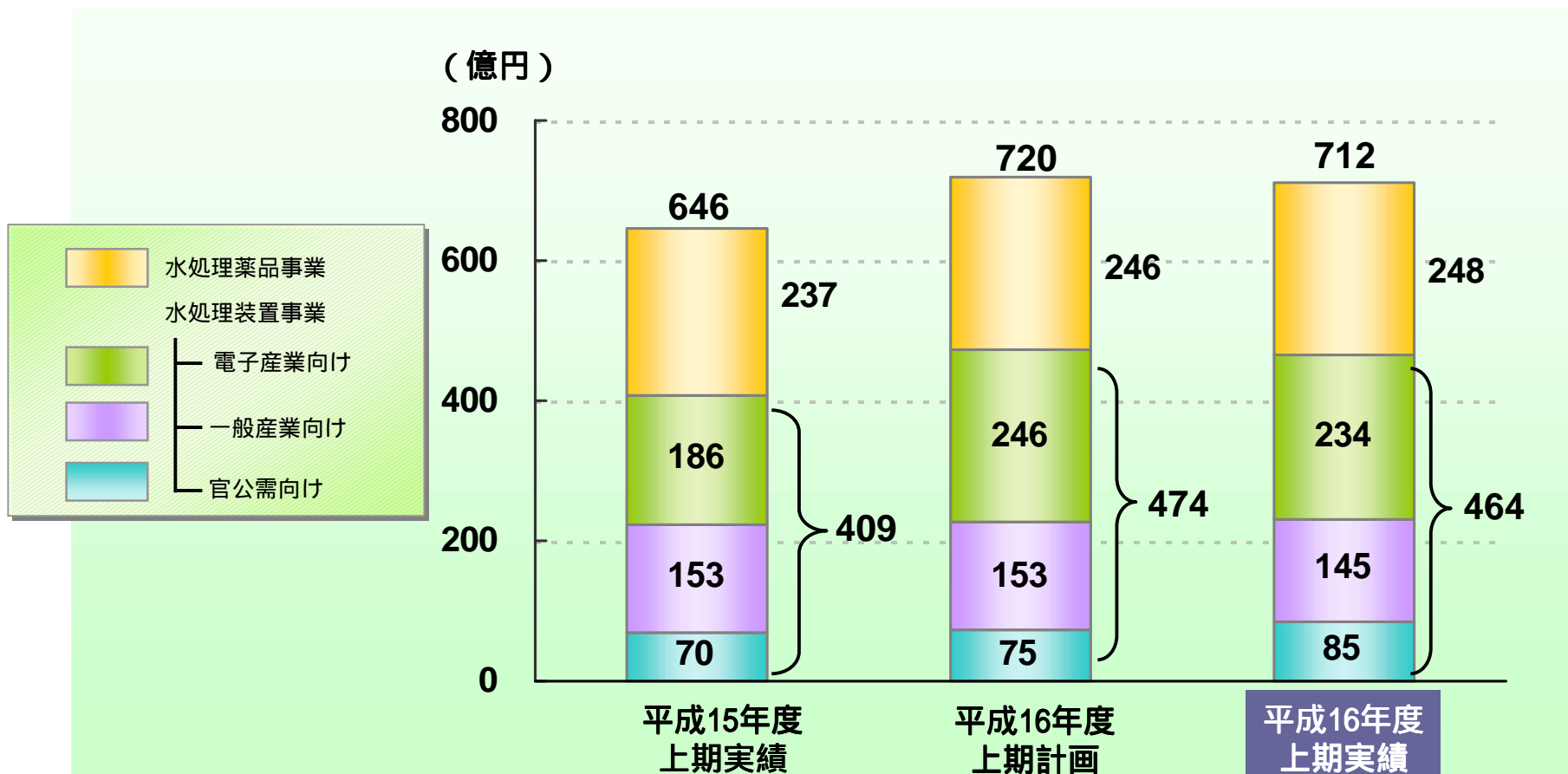
	H15年度 上期実績	H16年度 上期計画	H16年度 上期実績	計 画 比		前年同期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
受 注 高	782	845	847	+2	+0.2%	+65	+8.3%
売 上 高	646	720	712	-8	-1.2%	+66	+10.2%
売上総利益	209	226	231	+5	+2.3%	+22	+10.4%
営 業 利 益	42	56	64	+8	+15.0%	+22	+52.5%
経 常 利 益	44	57	68	+11	+18.6%	+23	+52.7%
当期純利益	24	32	38	+6	+19.8%	+14	+58.8%

- 薬品事業と電子産業向け装置の堅調な受注により、受注高は計画を上回った
- 売上高は計画未達となったものの、前年を上回った
- 販売費・一般管理費が計画を下回り、営業利益は計画を上回った

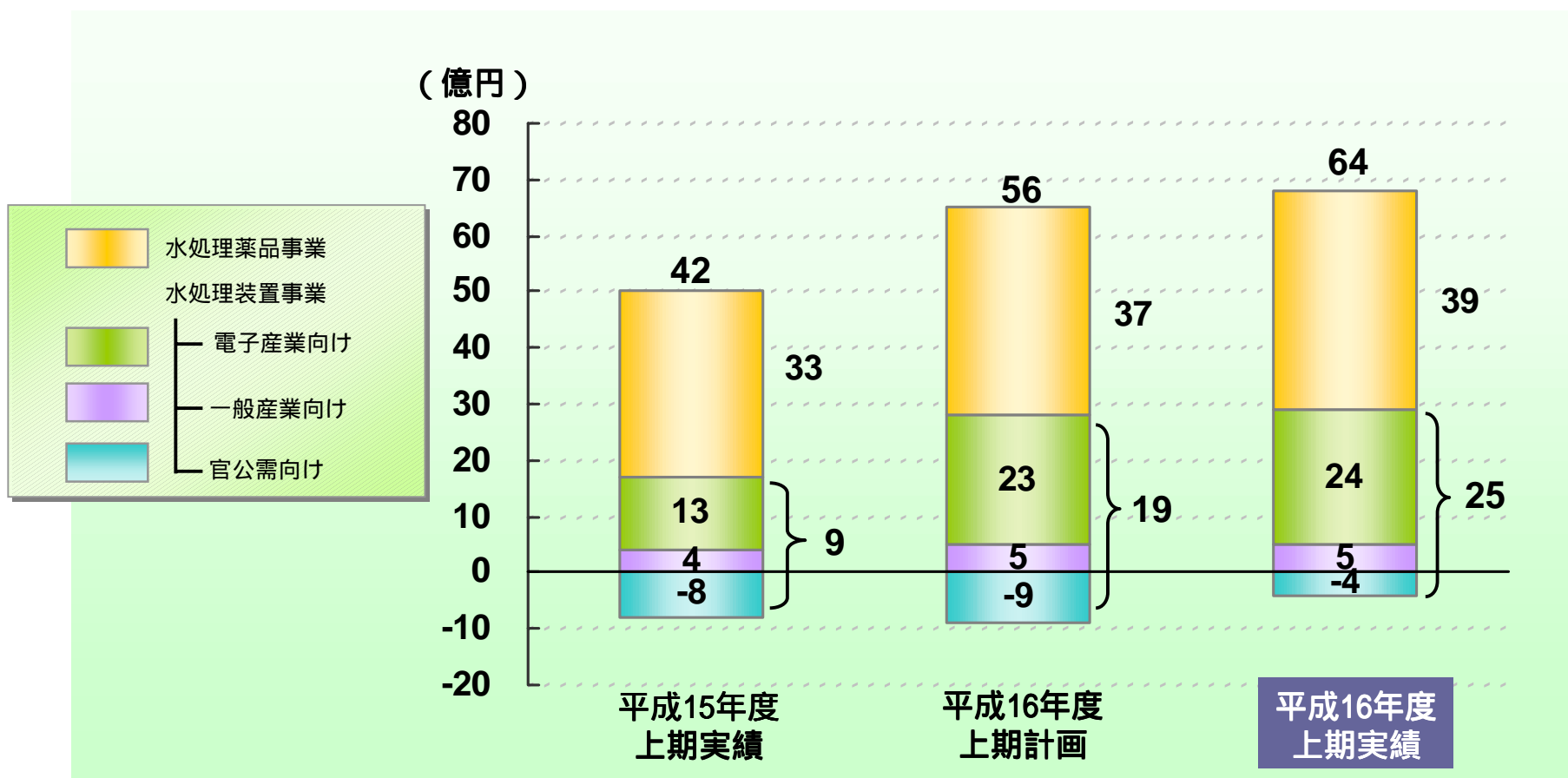
- 水処理薬品は、冷却水薬品の回復、紙パルプ向け薬品の伸長から計画を上回る伸び
- 電子産業向け装置は、半導体・FPD向け投資の堅調さが継続し計画を上回る
- 一般産業向け装置は、素材産業を中心に設備投資が回復傾向にあり前年同期比増



- 薬品事業は、冷却水薬品、紙パルプ向け薬品、契約型商品が伸長
- 電子産業向け装置は、受注増とメンテナンスの堅調を反映し増収
- 官公需向け装置は、前期の受注増を反映し増収

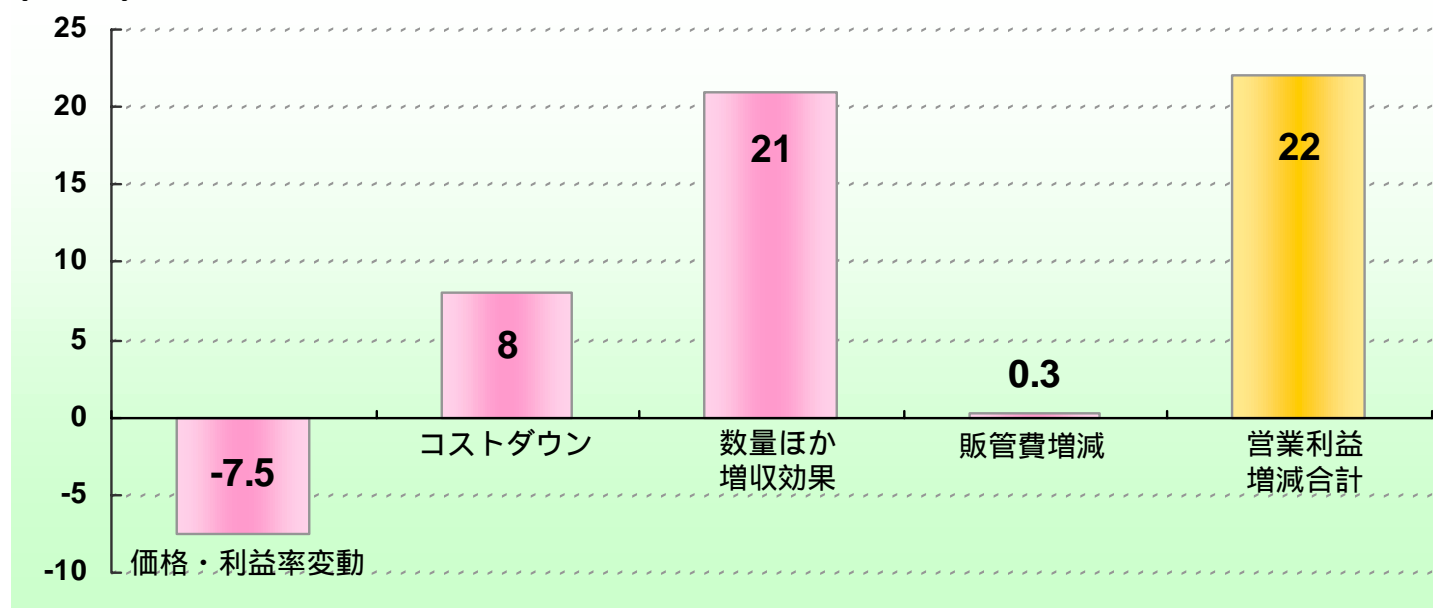


- 薬品事業は紙パルプ向け薬品など収益性の良い商品の伸長により計画を上回った
- 装置事業は電子産業向け装置の増収やメンテナンスの堅調が増益に寄与



- 薬品の新商品投入による利益率改善
- 薬品事業、装置事業ともに増収効果により利益が改善
- グループ会社の収益性向上と増収も増益に寄与

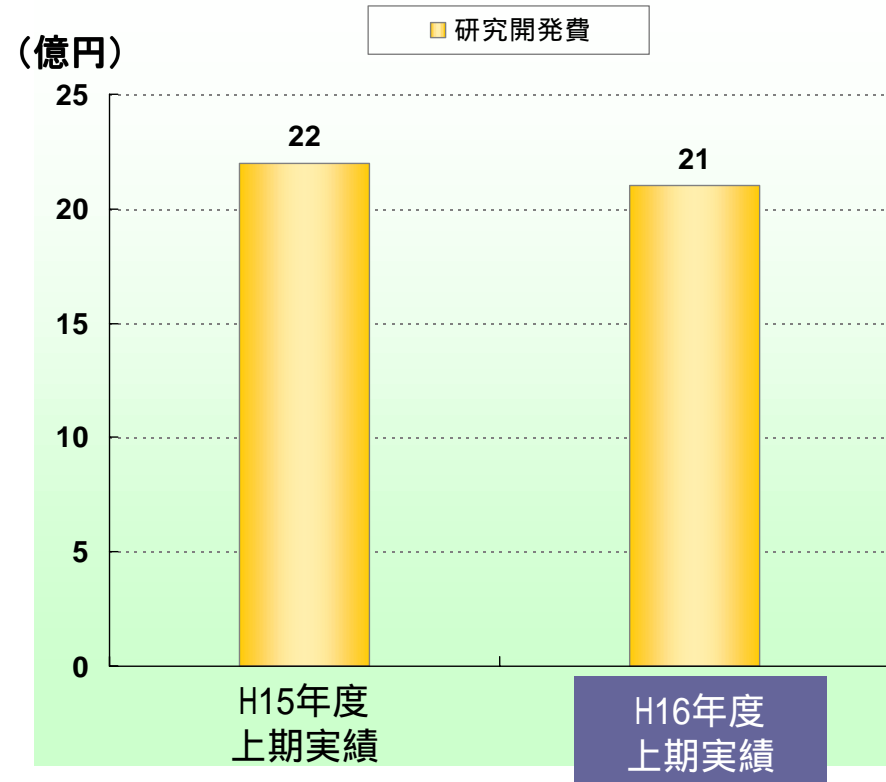
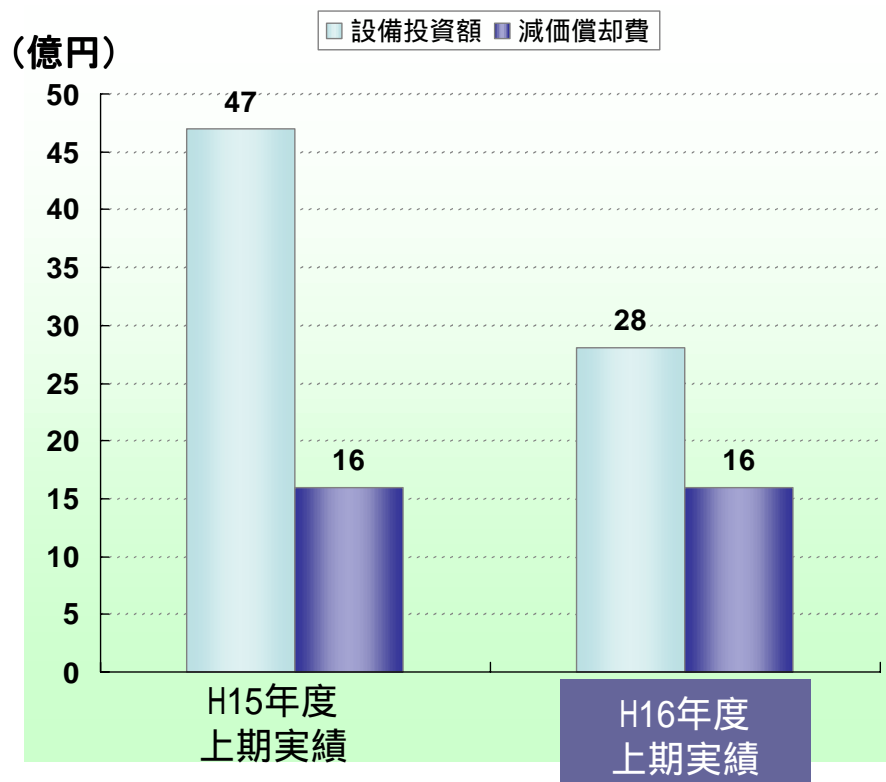
(億円)



(億円)

	H15年度 上期実績	H16年度 上期実績	増減額	増減率
営業利益	42	64	+22	+52.5%

- 設備投資の主なものは、超純水供給事業のための事業用設備の取得に係るもの
- 研究開発費は効率化推進と一部下期へ繰延べ



薬品事業は、増収とともに高収益化施策が成果を上げ利益計画を達成

電子産業向け装置では、超純水供給事業が着実に伸長したほか、メンテナンスも伸長

一般産業向け装置は、主に素材産業分野の需要拡大を背景に受注増

海外事業は、ほぼ期初計画どおりの推移

エコ事業部の着実な受注実績拡大

平成16年度計画



市場環境見通し

【水処理薬品事業】

- 国内工場稼働率は引き続き高水準
- 顧客企業のソリューション・ニーズの高まり
- 原材料価格高騰によるコスト上昇圧力の存在

【水処理装置事業】

- 国内電子産業における設備投資は堅調さを持続
- 韓国における液晶、中国における素材産業・電子部品の堅調な設備投資継続
- 国内一般産業における設備能力増強・更新投資需要とソリューション・ニーズの拡大
- 官公需市場の事業予算縮小

(億円)

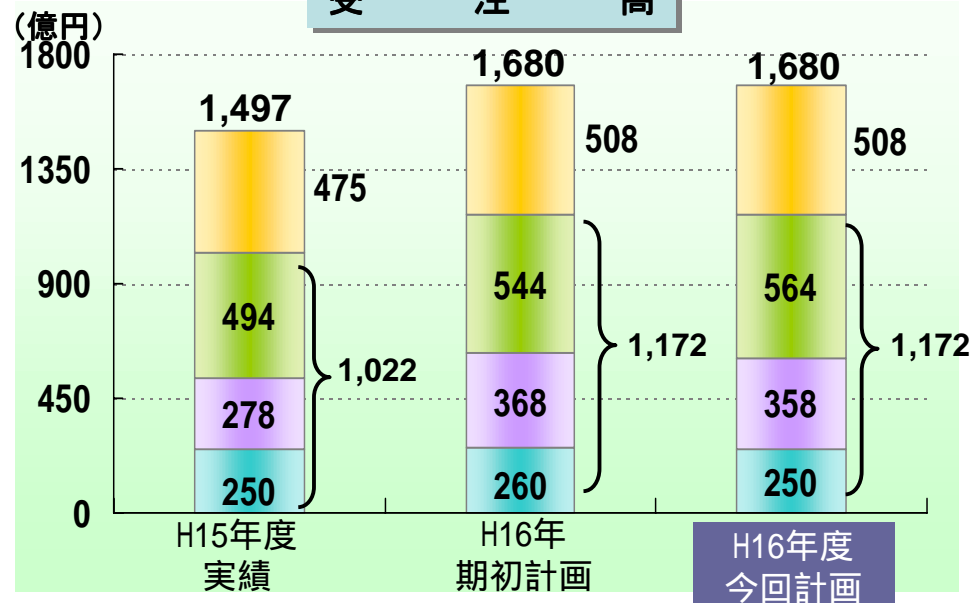
	H 1 5 年 度 実績	H 1 6 年 度 期初計画	H 1 6 年 度 今回計画	前 期 比	
				増減額	増減率
受注高	1,497	1,680	1,680	+183	+12.2%
売上高	1,468	1,618	1,618	+150	+10.2%
売上総利益	454	508	508	+54	+11.9%
販管費	319	337	337	+18	+5.7%
営業利益	135	171	171	+36	+26.8%
営業外収支	4	3	6	+2	+33.9%
経常利益	139	174	177	+38	+27.0%
特別損益	10	-	-3	-13	-
当期純利益	84	100	100	+16	+18.4%

【重点施策】

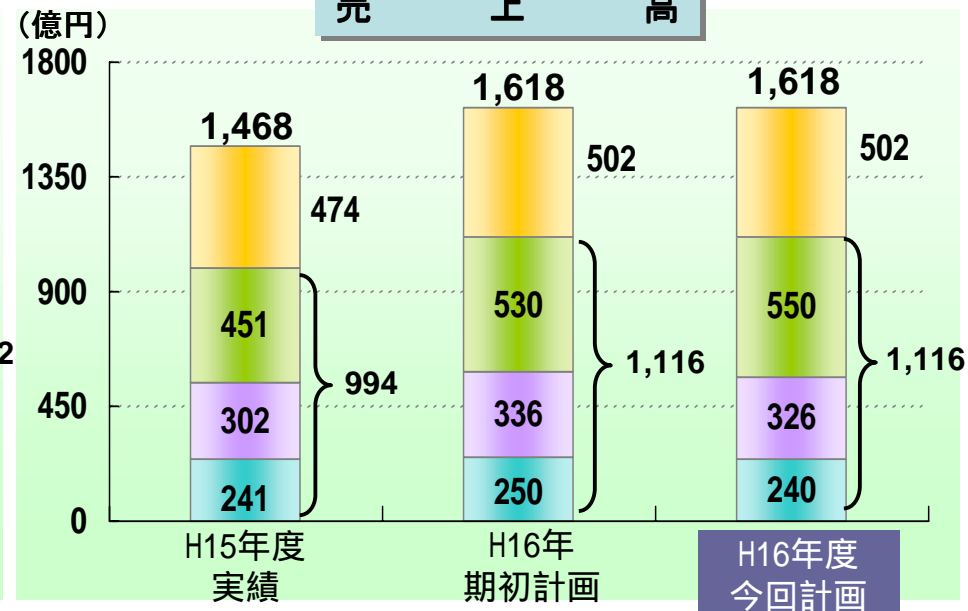
- 国内外における“攻め”の事業展開を加速
- 新ビジネスモデルの採算性向上と新製品開発および新事業の立ち上げ加速
- コスト低減を中心とした収益力の強化

平成16年度計画：セグメント別業績

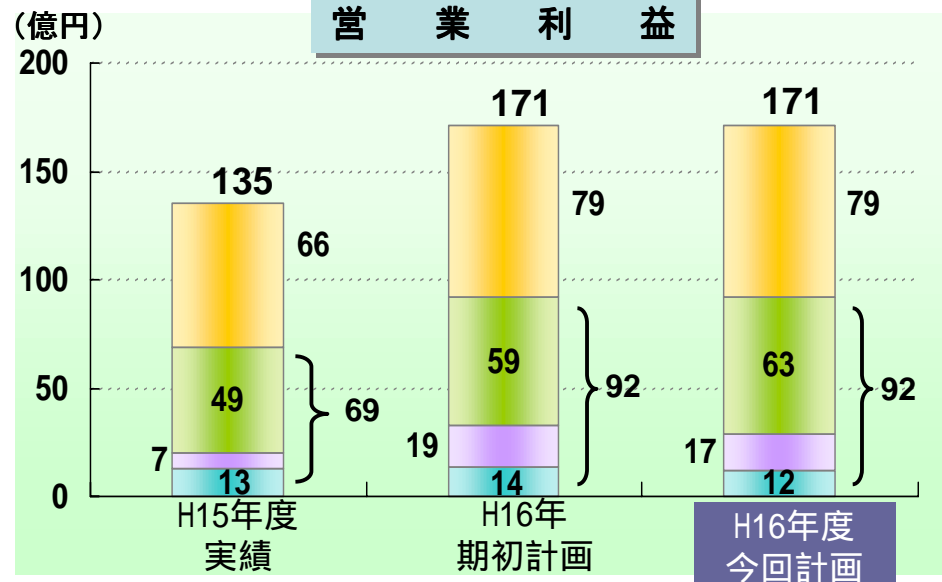
受注高



売上高

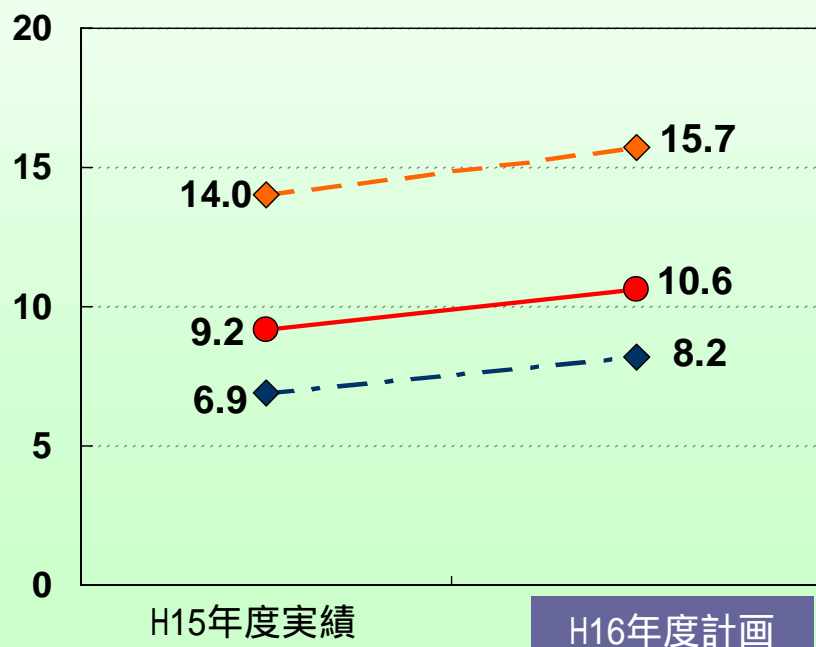


営業利益



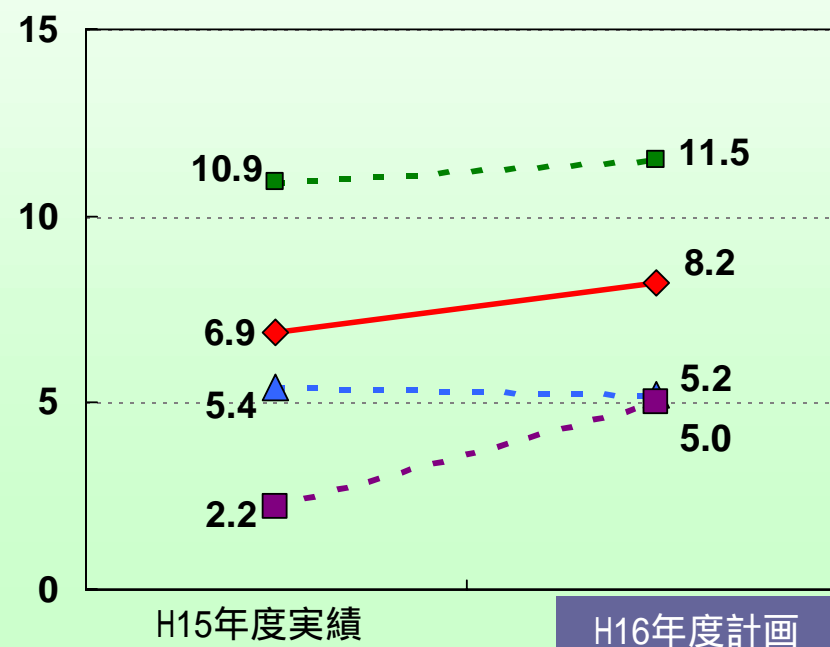
セグメント別営業利益率

- ◇— 営業利益率：水処理薬品
- 営業利益率：全社
- ◆— 営業利益率：水処理装置



水処理装置営業利益率

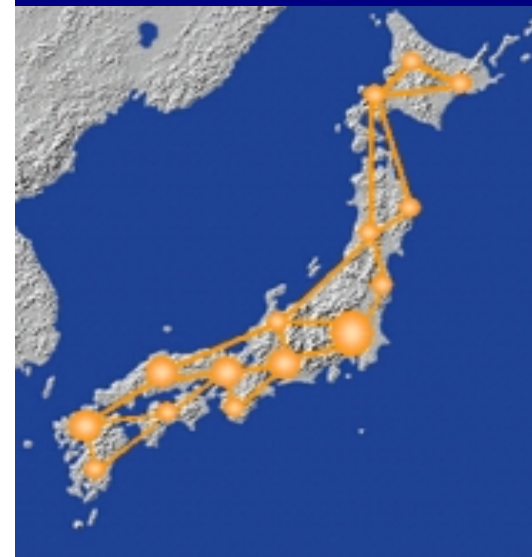
- 水処理装置：電子産業向け
- ◇— 水処理装置事業
- ▲— 水処理装置：官公需向け
- 水処理装置：一般産業向け



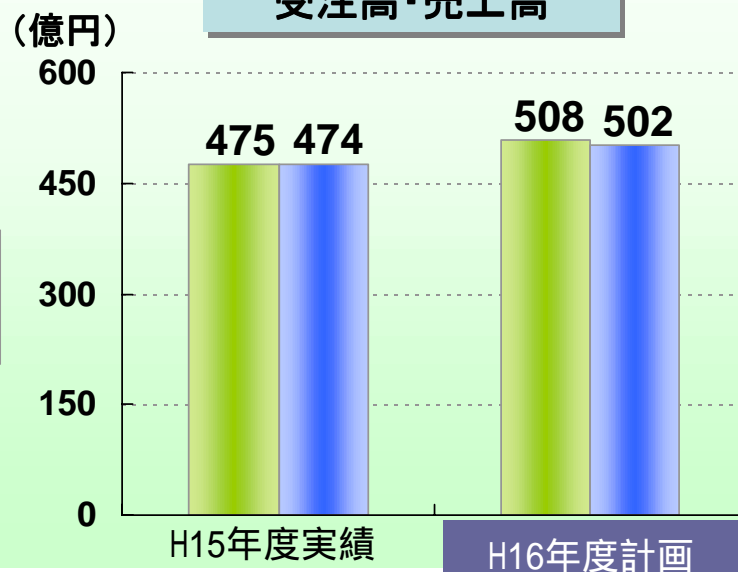
【水処理薬品事業】

- ソリューション事業の拡大
- 紙パルプ向けプロセス薬品・焼却炉向け薬品・高収益商品の拡販
- グループ販売網の強化
- 中国・欧州市場における事業強化

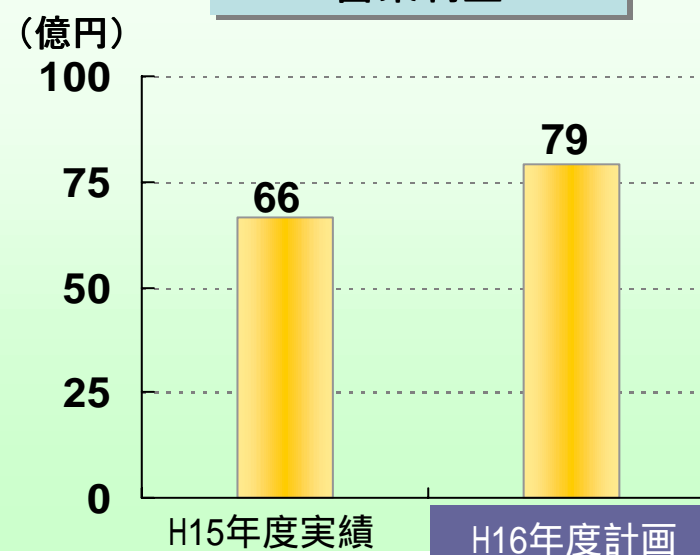
国内グループ販売網の強化



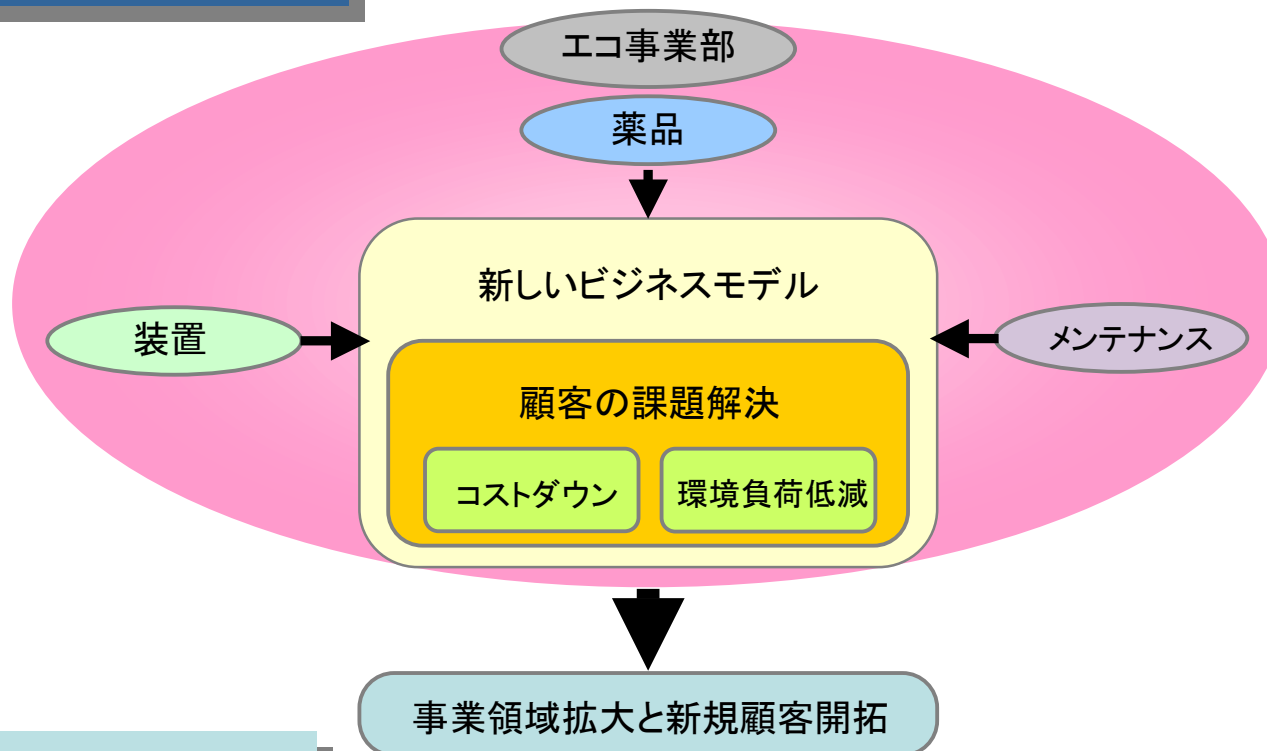
受注高・売上高



営業利益



エコ事業部の取組み



エコ事業部の受注高・売上高

（億円）

	H15年度 実績	H16年度 上期実績	H16年度 計画
受注高	17	21	50
売上高	7	10	30

【超純水供給事業】

- 案件内訳：液晶工場2件、半導体工場3件

顧客工場

半導体 /
液晶製造ライン

超純水供給

料金支払い

クリタ

- ・ 保有
- ・ メンテナンス
- ・ 運転管理

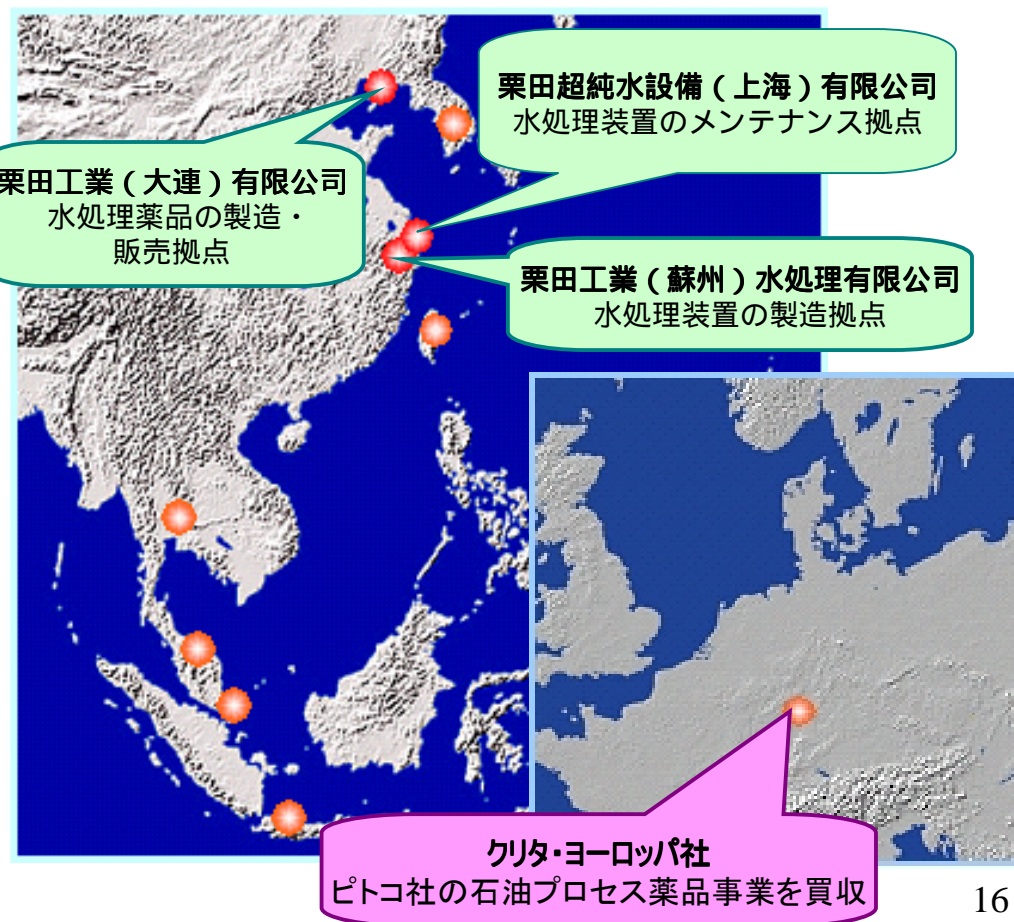
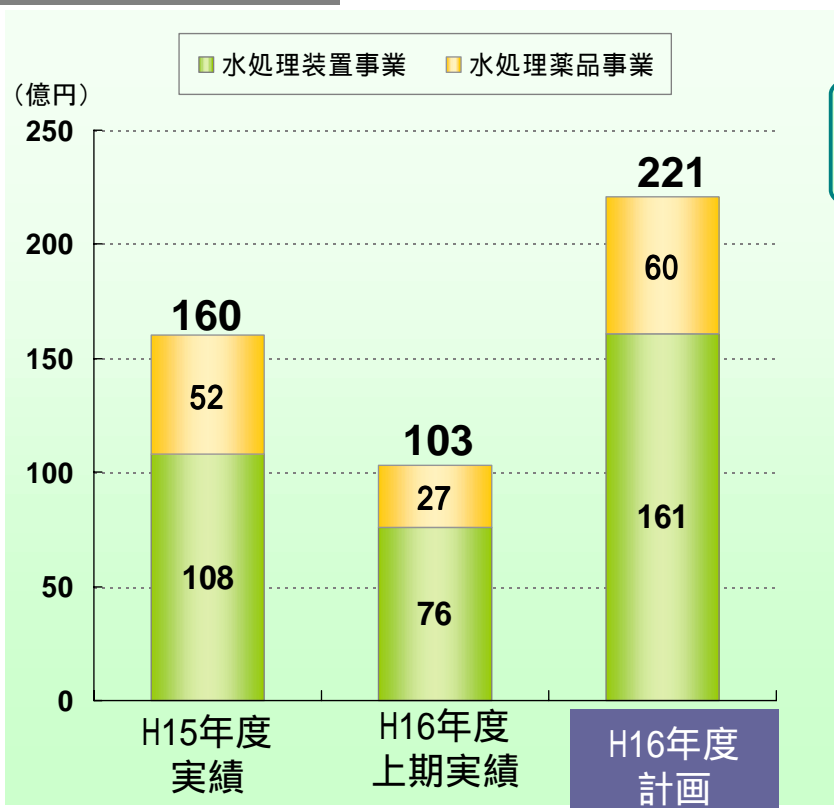
超純水システム



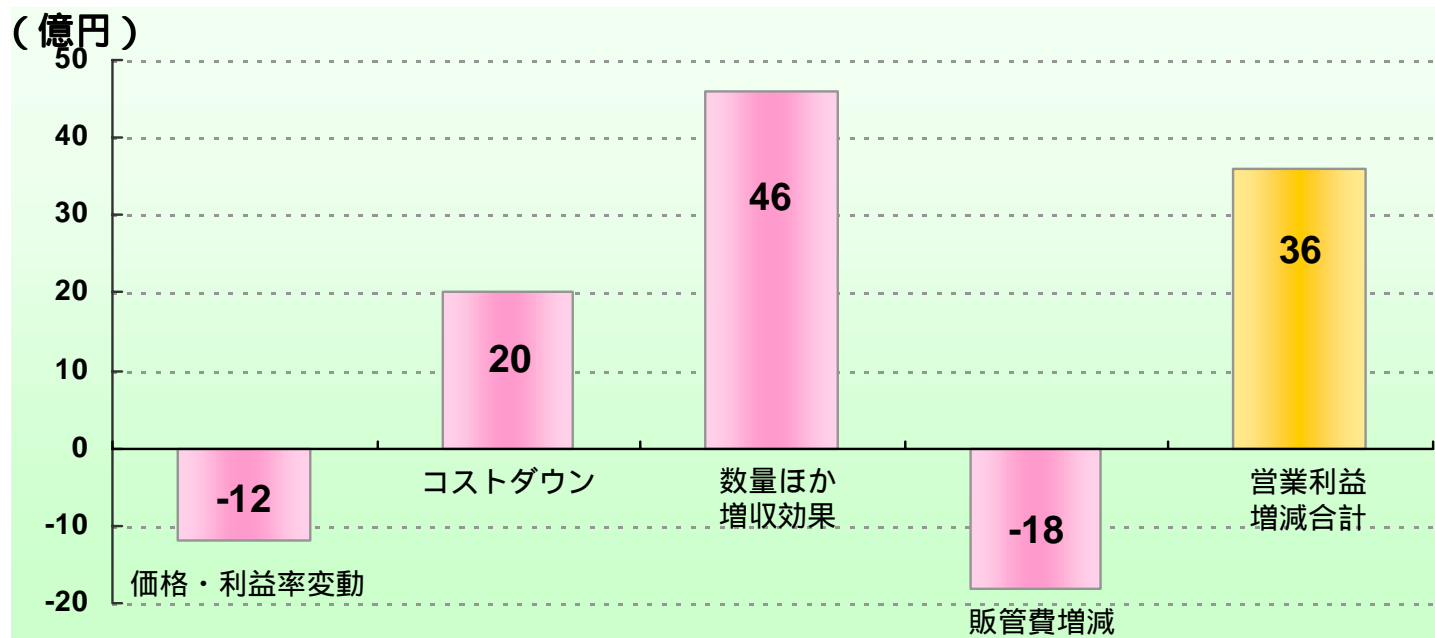
【海外事業展開】

- 中国市場における薬品・装置・メンテナンスの総合ソリューション体制確立
- ピトコ社の石油プロセス薬品事業によるクリタ・ヨーロッパ社の事業拡大

海外売上高



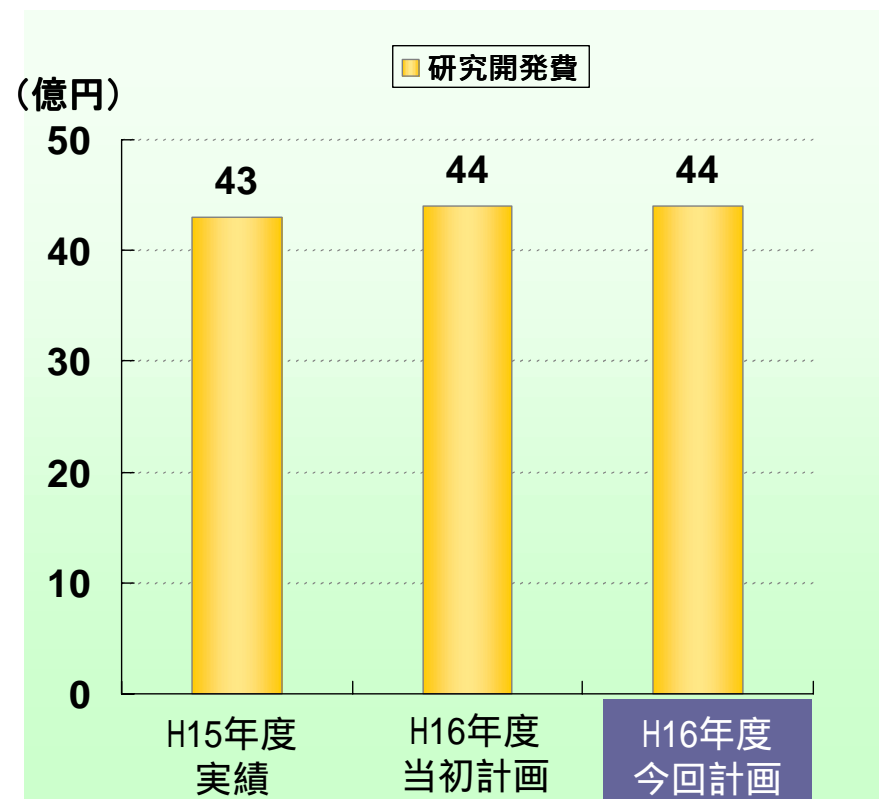
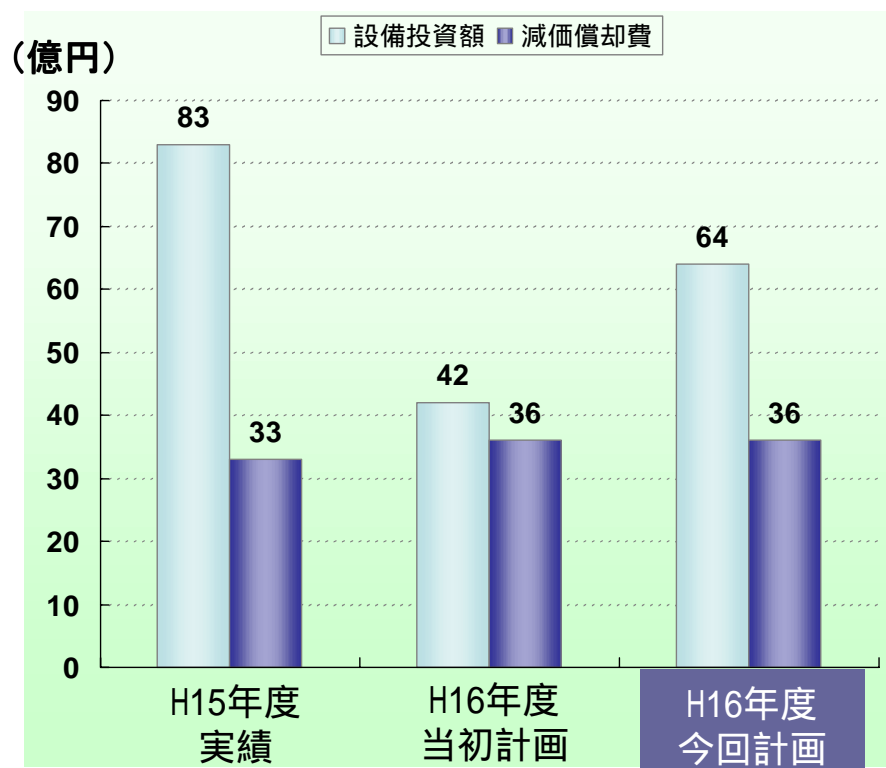
- コストダウン額は期初計画と同額を見込む
- 薬品事業、装置事業ともに増収効果大
- 販売費・一般管理費は期初計画と同額を見込む



(億円)

	H15年度実績	H16年度計画	増減額	増減率
営業利益	135	171	+36	+26.8%

- 設備投資は、超純水供給事業案件が期初計画に比し増加したため通期計画を増額修正
- 減価償却費は期初計画から変更なし
- 研究開発費は前期並みの水準



栗田工業株式会社

ホームページ<<http://kurita.web-ir.jp/>>
メール<ir@kurita.co.jp>

将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。